

記載例

郵送して申立てをするときは、申立手数料としてとりあえず500円分の収入印紙を貼っておいてください。その場合には後に足りない分を納めていただくことがあります。

この欄については、
裁判所職員にお尋ね
ください。

相手方の住所又は事務所
を管轄する簡易裁判所名を
書いてください。

あなたの住所、氏名、電話やファ
クシミリがある場合にはその番号を書き、氏名の横にあなたの認印を押
してください。

申立人が会社であるときは、会社
の所在地、会社名、代表者の氏名、
電話やファクシミリがある場合には
その番号を書いた上、代表者の認印
を押してください。

借り受けたときの住所、氏名が現
在と異なっている場合には、それら
も併記してください。

あなたに対して裁判所から書類を
送る場合にどこに宛てて送ってほし
いか、希望する場所（送達場所）の
□をレ点でチェックして届け出てく
ださい。以後あなたに対する書類は
この届出場所に宛ててお送りするこ
とになります。

あなたの勤務先に書類を送ってほ
しい場合には、「勤務先」の□をレ
点でチェックし、勤務先の名称とそ
の住所を書いてください。

あなたの住所でも勤務先でもない
場所（例えば、あなたのお父さんの
家など）に書類を送ってほしい場
合には、「その他の場所」の□にレ
点でチェックし、「申立人との関係」
の部分に「父の家」などとあなたと
その場所との関係を書き、その住所
を書いてください。

上記の届出場所においてあなたの
代わりにあなた宛の書類を受け取る
べき人（送達受取人）を届け出る場
合には、この□をレ点でチェックし、
その人の氏名を書いてください。こ
の届出をすると、以後あなたに対す
る書類は送達受取人に宛ててお送り
することになります。

調停事項の価額	①	円
ちょう用印紙	②	円
予納郵便切手	③	円

印紙欄
(割印はしないでください)

(債務弁済協定・債務不存在)	
調 停 申 立 書	
〇〇 簡易裁判所 御中	
作成年月日	平成 〇〇 年 〇 月 〇 日
申 立 人	住所（所在地）（〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇） 〇〇 県 〇〇 市 〇〇 町 〇 丁目 〇 番 〇 号 氏名（会社名・代表者名） 甲 野 太 郎 TEL 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 FAX 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇
	送達場所等の届出 ☒ 上記住所等 ☐ 勤務先 名称 〒 住所 TEL - - ☐ その他の場所（申立人との関係 〒 住所 TEL - -
	☐ 申立人に対する書類の送達は、次の人に宛てて行ってください。 氏 名
	住所（所在地）（〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇） 〇〇 県 〇〇 市 〇〇 町 〇 丁目 〇 番 〇 号 氏名（会社名・代表者名） 〇〇 金融商事株式会社 代表者 代表取締役 乙 野 次 郎 TEL 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 FAX 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇
相 手 方	(送付先) 支 店 (〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇) 〇〇 県 〇〇 市 〇〇 町 〇 丁目 〇 番 〇 号 TEL 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 FAX 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇
申 立 て の 趣 旨	(どちらかに○を付けてください。) ① 債務額を確定したうえ債務支払方法を協定したい 2 後記債務を負っていないことの確認をしたい との調停を求める。

借り受けた支店又は営業所
の所在地を書いてください。

相手方の住所、氏名、電話やファクシミリの番号が分かっている
場合にはその番号を書いてください。

相手方が会社であるときは、商業登記簿謄（抄）本又は登記事
項証明書を見て、会社の所在地、会社名、代表者の氏名を書き、
また、電話やファクシミリの番号が分かっている場合にはその番
号を書いてください。

この表には、返済の状況を日を追って、年月日、金額を具体的に書いてください。元利の別は分からなければ書かなくてもかまいません。支払ってはいるが、資料もなく、月日も金額も書き入れられない場合は、備考欄にその旨を書いてください。

(債務弁済協定・債務不存在)

紛争の要点 (下記のとおり)				返済年月日	返済金額(円)	元利の別												
1 債務の種類 ☒ 借受金 ☐ 立替金 ☐ 保証債務 (借受人氏名)				04.25	7 000	元 ・ 利												
				06.10	12 000	元 ・ 利												
				07.25	8 000	元 ・ 利												
2 借受金額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>借受年月日</th> <th>借受金額(円)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>04.1</td> <td>1,000 000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>08.1</td> <td>200 000</td> <td>切替増額</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>切替増額</td> </tr> </tbody> </table>				借受年月日	借受金額(円)		04.1	1,000 000		08.1	200 000	切替増額			切替増額	08.25	9 500	元 ・ 利
				借受年月日	借受金額(円)													
04.1	1,000 000																	
08.1	200 000	切替増額																
		切替増額																
				08.30	10 000	元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
						元 ・ 利												
3 返済状況 右表のとおり (現在の元本残額 円)				備考														
4 調停申立ての理由 ☒ 申立人は、他にも債務があり、残債務額を一時に返済できない。 ☐ 申立人は債務を負っていないのに、相手方から支払を請求されている。																		
				添付書類 金銭借用証書写し 2 通 領収証写し 5 通 商業登記簿謄(抄)本又は登記事項証明書 1 通														

債務の種類に○をしてください。

なお、保証債務の場合には、() 内に借受人 (主債務者) の氏名を書いてください。

あなた又はあなたが保証した人が借り受けたときの年月日、金額、その後の切替、増額状況を書いてください。

約束した利息・損害金の年利・月利・日歩のいずれかをを書いてください。分からないときは書かなくてもかまいません。借受金によって率が違うときは、最初の借受金の率を書き、残りの分は備考欄に書いてください。

元本の残高が分かっていたら書いてください。

申立人又は相手方が会社の場合には、その会社の商業登記簿謄(抄)本又は登記事項証明書を添付してください。

証拠書類となる金銭借用証書などがありましたら、その写しを添付してください。